

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『ヒト脳言語野において特異的な発現制御を受ける遺伝子群とゲノム領域の探索』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2009年4月以降2026年12月末日までの間に国立精神・神経医療研究センター病院で病理解剖され、NCNPブレインバンクでの剖検検体の保管および研究使用に関して同意された方の中から、言語コミュニケーションになどの脳機能に障害を持たず、病理学的解析により顕著な疾患が見つからなかった方。

男女1例ずつ

【研究期間】

倫理審査承認日より2027年3月31日まで

【研究代表者】 北海道大学 大学院理学研究院 生物科学部門 和多和宏

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部 高尾昌樹

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

ヒトの言語能力の発達は、脳内遺伝子発現変化が細胞タイプごとに特異的に起こることで、神経回路・生理特性等の変化を誘導し形成されると考えられています。本研究では、ヒトの言語の生物学的基盤を明らかにするために、ヒト言語野関連領域において、細胞タイプごとに一細胞における遺伝子発現を解析いたします。

当センターより北海道大学に、冷凍宅急便で凍結脳組織を送付し、北海道大学において、一つの細胞で発現する遺伝子の種類を、細胞タイプごとに調べて解析を行います。

【利用又は提供する試料・情報等】

試料:凍結死後脳組織(男女各1):ブローカ野と呼ばれる言語機能にかかわる領域(左脳半球に存在)、右脳半球のこれに対応する脳部位。左右半球の運動の制御に関わる一次運動野と呼ばれる領域

作成年月日： 2022年 7月26日 第1版

情報等：性別、年齢、死後時間、疾患名、診断情報、病理解析結果

提供する試料・情報の取得の方法

試料：NCNP ブレインバンクに寄託

情報：試料に付随してブレインバンクに寄託またはブレインバンクにおける解析により取得

【共同研究機関】

北海道大学 大学院理学研究院 生物科学部門

和多和宏（研究代表者）

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

所属 病院 臨床検査部 病理検査室 氏名 高尾昌樹

電話番号 042-341-2711(代表)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)